

いねき民報 行發 社報民きわい 社報民きわい (第一八三號) 地第一町田市平 入行發 已克輝千 人入行發 除九日曜月但刊日 張五十第 日 月 年 一 一 一 一

讓る 醫療器具一揃 俱し中古品、出合で開業出 來る程度品あり。 直接面談し度し 姓名、在いはき民報社

配給野菜は持て余し

田植と控へて野菜の洪水

田植を眼前に控えて水田に二毛然し一般市内に百姓さんが賣日下小川村下小川養蠶實行組合 作を耕つてゐた野菜類は急に田込に來る野菜は菜一圓五十錢乃至三圓五十錢乃至三圓五十 植の手入に着手しなければならぬ。玉菜六、七圓の相場のため ないため一度にどつと出廻りを、高配給には愛相つかしの 見せ様に菜類は公定より遙かに、高配給には愛相つかしの 下廻ると云ふ久しぶりに安お形で實行不振、市では生が下る 野菜が市中に出廻り始めた、今と大變だと賣れない菜類を片倉 十二日は平運より五百貫が入荷製絲工場に引取つて賣ふと云ふ 六圓(公定同)菜類價格未定(この分では)三、四日はお野 公定四圓五十錢)で配給したが菜泥流の見込である

供出には不良品ぞ

農家の誠意に訴へるのみ

右について市配給課では語る 農業會を通じて集荷を始める と今までの悪い癖でどんな粗 悪品でも供出する、一方百姓 自身も市内に商するときは 生の良い、質の良いものを残 して置いて安く賣る、供出は どんな物でもかまはないと云 石城地方事務所配給課では十四

桑苗曲取講習

大道異變

平 中 青 二 欠配にあきれ返つて、上野の 不忍池をタンボにすることにし たといふ。約二十町歩の土地を 遊ばせておくには忍びずといふ 諺である。苦しむことは創造發 展の源動力たること、古今東西 その軌を一にする。 増産に利用出来る所は、鐵道 線路の土手の如く無限に續く。 但し土手を壊すやうなことをさ

馬鈴薯の出荷目標

町村割當その他決定さる

Table with columns for village names (町村名), target quantities (目標数量), and other details. Includes entries like 町村名 目標數量 荷受町村, 泉 六〇, 小名濱 六〇, 湯本 八〇, etc.

青果物統制協議

城支部で 十五日前十時から同支部に 青果物等統制令及び指定出荷機 關に就いて協議會を開く

村會と青年對立化

重視さるる小川村政改革問題

神保田問題に口火を切つた上下 小川組合青年團の村政民主化 運動は、各方面から注視の的と なつてゐたが、村會側は一度青 年大會の席上意見を表明した、 柳田村長の留任運動を策したの で、青年側は納らずこの上村民 態度強硬なものがある、果 大會を開いて飽迄目的貫徹を 期することになり成行を懸念さる 成行は非常に重視されてゐる に至つたので、青壯年志必も 黙視し得ず何とか平和裡に解決 せしめやうと仲裁に乗り出し、去 十一月第一回懇談會を開いた 石縣議會は草野藤氏を議長とし て三十余名が出席したが、村會 側はこゝでも村長留任を主張し 青年側と全く對立し何等譲ら ずやむやみの中に散會となつた、 仲裁者側は田植も差迫つたの でこの際一切を田植後に持越す ことに決定、双方の諒解を求め た、尙青年側は 村長及び役員退任の退職に 就いては復職を絶対に認めぬ (二) 渡邊常治(二八)外二名の 任業と判り十二日捕へると共に 共犯二名の手配中とある

列車の米泥は 元驛員達

共犯二名は逃走 去る九日午後十一時四倉發二九 四列車が平驛に到着するや平食 糧營團に入荷する二百俵の米 米の中三六俵がなくなつた、 居た、状況から察し進行中の列 車から抜き送つたもので驛に關 係ある者の處為と睨み探査中右 は元驛員であつた大浦村上仁 井田岡田秀信(二五)岡田(二二) 渡邊常治(二八)外二名の 任業と判り十二日捕へると共に 共犯二名の手配中とある

二日前後早い上簇

目標一萬二千貫の收購確實

郡下の春蠶況は月始めの降雨の のと見られてゐる、上簇が二日 前後早められただけに繭の重量 に於いては幾分減るであらうが 經過は順調なので目標の一 萬二千貫は確實に受合へるもの とされ最も優秀なのは小川方部 とされてゐる

地方鐵工界に 新機軸を

程塚鐵工開所式

平市彌宜町に設立準備中であつた 合資會社程塚鐵工所では、全 體つたので十五日午前十一時か 開所式を舉行する、所長程塚 公氏は横濱ドック出身で、終戦 前までは大阪造船で指導に當つ てゐた、程に、製鐵方面ばかり でなく、汽で要望される船の修 理や現場での造船解体等も引受 ける外各種設計等も行ふとあ り、地方鐵工界に一新機軸を出 すものと期待されてゐる

平水雪請賣 組合の總會

涼を慕ふ (アイスキャンデー業者を除く) で組織する平水雪請賣組合で は十一日午後一時より平署會議 室で總會を開催、傳染病預防の 講話を聴いたのち許可證の交付 を受けた、今年の業者は千八百 名の組合員のうち疎開等に依つて 約九十名の豫定で二十日ごろか ら營業を始めることになつてゐる

希望は調味料

赤字の日用品交換所 縣物資更生協會の肝煎りで平市 三丁目三番地開所した平日用品交換 所に最近の世相の反影を拾つて 見る

工員募集

板金工 若干名 製罐工 若干名 瓦斯熔接工 若干名 鑄山用製鐵工事及火造 工 若干名 パイプ製作及修理 工 若干名 魚船用金物一式 若干名 瓦斯熔接並電氣熔接 工 若干名

古川鐵工所

平市彌宜町五 電呼五三三番

寫眞

近代人の寫場 小名濱役場前 田中寫眞場

言寸きわい 方振りには野菜の洪水 田植を控へての一時 的現象といへ市民に 對しては嬉しい限りお 陰で市配給の配給野菜 は持て余し、片倉製糸 には引取つて賣つてけりつけた 如何を問はず、供出には不良品 を、自家賣りは良品をといつた 農家の態度を根本から一擲、眞 心の協力を求めるより外ないといふ 眞に尤も至極ながら、眞 心協力を求めるより外ないといふ 眞に尤も至極ながら、眞 心の協力を求めるより外ないといふ 眞に尤も至極ながら、眞 心の協力を求めるより外ないといふ

寫眞 近代人の寫場 小名濱役場前 田中寫眞場

# 引揚者の生活を覗く

## 百七十四戸の警城聯盟の調査

外地引揚者はいまだ生活を送つてゐるか、海外引揚者警城聯盟では先月十日現在で職業、家族数、拂出すべき預金の有無、住宅、お臺所品等に就いて調査を進めた。調査対象は百七十四戸(六百一名)で内詳

- ▽支那(七十七戸) △朝鮮(三十三戸) △臺灣(二十四戸) △滿洲(二十二戸)
- ▽蒙疆(四戸) △樺太(二戸) △佛印(二戸) △比島(二戸) △パラオ(一戸)
- ▽トラック(一戸) △スマトラ(三戸) △シンガポール(二戸) △セレス(一戸)
- ▽北米(一戸) 纏つた調査統計に依ればその内情次の通り

### 無職者が断然多い

#### 希望職種は矢張り事務系統

在留當時の職業を見ると鐵道員三百九名、女二百九十二名であ

### 中年者

一番多いのは 住宅面は不自由 深刻な住宅の面を見ると同居、借家、間借は流石に多く新築を希望するものは僅か二名きり、同居五十三世帯、借家四十九世帯、間借三十一世帯、寄寓二十三世帯、自宅十四世帯、官舎、簡易住宅、假住宅各一世帯で同居、間借、寄寓等は相當不自由を忍んで生活してゐる模様だ、この人達を年齢別に見ると三十一歳より三十五歳まで三十八名、三十六歳から四十一歳まで、四十一歳より四十五歳までが各々三十二名、二十五歳前の青少年は十七名、六十歳以上のお爺さん五名も含まれてゐる

### 五百圓以下の相談

短期貸付湯本ウラ町青柳の如きは全然揃つてゐない家庭が八十四世帯、今夏の蚊帳は釜同様百人以上一張の割と云ふ可哀想な有様である

### 大半無一文

百二人に釜一個 惨めな生活様態 外來分でも拂出す預金のある者七十六世帯、預金の無いもの九つ、二、二十九戸、三人三十三戸、四人十八戸、五人十七戸、六人十五戸、七人十二戸、八人五戸、九人四戸となつてをり男

# 萬葉集雜記

千輝 克己

萬葉集は日本最古の歌集で、上古の歌がこれ程多く残つてゐることは眞に珍しい、同集にある歌は長歌二百六十二首、短歌四千七百三十三首、旋頭歌六十一首の合計四千四百九十六首である。この作は仁徳天皇の御代から淳仁天皇の御代の作で、上古は歌が少いから大伴家持が山柿の門下り以後だが、讀人不知の歌の中には人口に膾炙した古歌を集めてゐるものが多いからその年代は更に古いといはねばならぬ、その歌も上は天皇、皇后、下は庶民に至るまで、大宮人の歌もあれば東國の鄙人の歌もあり上古の國民思想が純國語で綴られて一千余年も残されてゐるのであり、先づ萬葉の尊さはこの集を通じて古人の思想が直に現代人の胸の底に響くところにあるのである。

然し中古來日本人は何事も支那を尊し古典を忘れた、孔子の國の言語を修飾した詩經をも經典と崇めたにも拘らずこの國の無双の經典を顧みなかつた、ところがその後國學の勃興と共に研究が盛んになり、契沖、春満、眞淵、宣長等一派が各方面

から研究するに及んで始めてこの古典の尊さが知れたるに至つたのである。それだけに萬葉の研究はまだ、余地が多く、われも益々研究すべき領域が残されてゐるのである。

萬葉の歌人といへば直ぐ柿本人麿、山部赤人を想起させる。これはあの大神家持が山柿の門下りといつたのを見ても判るであらう。この二人こそ萬葉の二巨星である。

人麿には長篇が多い、最も長いのは卷二にある古市皇子廢宮歌で百四十九句から成つてゐる。赤人は長篇は作らず大抵二十句前後で歌つてゐる。二人とも純日本思想を歌つた當時の詩人で、奈良朝歌人の先驅者として働いた。純粋な國民の上代思想が尊い價値である。

山柿の門の山を山上憶良といふ人もある。然し憶良は支那思想、印度思想を詠込んだものが多く、これらの外來思想が自然の父親の大學の師大伴旅人のしるじなく物思はずは一杯(ひとつき)の濁れる酒をのむべからし

等々の十三首から成る讀酒歌がその最も著しい例である。又この旅人の子の家持は一方で建國以來の思想を良く歌ふ一面でまたよく外來思想を詠んでゐる。そして人麿、憶良に模倣した跡がみえるが、その文辭詞藻に於いて貧弱になり、冗慢に流れ勝であつて、長歌に至つては奈良末期に於いて已に衰頹の

美術貴金屬、書畫骨董 衣類雜貨、新古家財道具 何んでも高價に 買入れます 平市南町(平館隣) 中央會館

古今集に於いては同様にだが萬葉には有名歌人より讀人不知の歌に面白いものが多い、所謂國民詩で、古來の名歌で人目によく上つたものが集められたいよに、單純率直に人情美をよく表現してゐるものが多い。

委託、賣買、交換 一時預品、金酬 湯本ウラ町 青柳

四倉造船所 社長 谷川周一郎 電話 二六八番

四倉睡會事務所 會長 鯨岡龍男

四倉變電所 電話 六番

福島縣農業會 四倉罐詰工場 工場長 豊田美孝 電話 一六四番

磐城セメント株式會社 四倉工場 電話 一三、六七番

有限會社 四倉ハイヤー 電話 八番

四倉地區配給 統制組合 電話 一四五番

四倉漁業會 會長 長谷川長太郎

四倉郵便局 四倉新町郵便局

東北配電株式會社 平營業所 四倉變電所 電話 六番

四倉町長 鈴木賢治

四倉驛 電話 六五九番

四倉郵便局

四倉郵便局

四倉郵便局

四倉郵便局

四倉郵便局